

「両手いっぱいのお愛」新聖歌483番

1. ある日 イエスさまに聞いてみたんだ
どれくらいボクを愛してるの？
これくらいかな？ これくらいかな？
イエスさまは だまって ほほえんでる
2. もういちど イエスさまに聞いてみたんだ
どれくらいボクを愛してるの？
これくらいかな？ これくらいかな？
イエスさまは 優しく ほほえんでる

【次】

「両手いっぱいのお愛」新聖歌483番

3. ある日 イエスさまは こたえてくれた
静かに両手をひろげて
その手のひらに くぎを打たれて
十字架にかかってくださった
それは ボクの罪ため
ごめんね ありがとう イエスさま
それは ボクの罪ため
ごめんね ありがとう イエスさま
ごめんね ありがとう イエスさま

160 いと高きところに栄光が

いと高きところに栄光が

神にあるように

地の上に平和が

みこころにかなう人々にあるように

いと高きところに栄光が

神にあるように

地の上に平和が

みこころにかなう人々にあるように

新聖歌297番 「神はわが力」

- 1 神はわが力 わが高きやぐら
苦しめるときの 近き助けなり
- 2 たとい地は変わり 山は海原(うなばら)の
中にうつるとも われいかで恐れん
- 3 神のみやこには 静かに流るる
きよき河(かわ)ありて み民をうるおす
- 4 みことばの水は 疲れをいやして
新たなるいのち 与えて尽きせじ 【次】

新聖歌297番 「神はわが力」

- 5 神の御許辺(みもとべ)は
常に安(やす)らけく
苦しみも悩みも 消えて跡(あと)ぞなき
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌131番 「仰(あお)げや輝く」

- 1 仰(あお)げや輝く 雲にうち乗り
天(あめ)なる御座(みくら)に のぼるわが主を
聞かずやみ使い 御門(みかど)をひらき
喜び迎(むか)うる たたえの歌を
- 2 つねより御殿(みとの)の などかく賑(にぎ)おう
知らずや勝利の 君(きみ)なるイエスは
死の長(おさ)やぶりて 世(よ)を取り返し
今日しも 御国(みくに)に 帰らせ給(たも)う

【次】

新聖歌131番 「仰(あお)げや輝く」

- 3 父なる御神(みかみ)と 共にし歩み
いのちと滅びと 分(わ)かるる道の
しるしを残して エノクの如(ごと)く
移され給いぬ 天(あめ)なる家に
- 4 地(つち)にて朽(く)つべき 人をも天(あめ)に
昇らせ給(たま)いし 救いの主(ぬし)よ
御跡(みあと)をしのびて 振(ふ)りさけ見れば
われらが行く手も 明(さや)にぞなれる

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン